



年末年始の安全管理確保を呼びかける診断員
＝鹿児島市与次郎の現場事務所で



米永一義会長

新奄美型住宅を提案

初代会長に米永氏



地域の文化に根差した住宅を——と呼びかけた総会
＝鹿児島市のグリーンホテル錦生館で

奄美の家推進協議会が発足

県産材の促進を図り、奄美の風土や文化に根差した高規格優良住宅を構築しようと、鹿児島市内の生産・流通・加工企業と地元、奄美大島の建築会社とが連携して、奄美の家推進協議会が発足した。鹿児島市のグリーンホテル錦生館で設立総会を開いた。

発起人代表の米永一義氏は「地域の住宅文化をもとに資産価値の高い新しい奄美型の住宅を提案したい。そのためにも地元工務店の参画をぜひお願いしたかった」と説明。

参加したのは供給側から県木材商業協組、県森

林組合連合会、鹿児島ブレカット事業協組の3団体。沖永良部、徳之島、名瀬、笠利、与論地区から7社の施工企業が呼びかけに応じた。

奄美の家は、県内産杉集成材と断熱パネル、金物工法を一体化させたTS構法を採用。耐久性、防蟻性、高断熱・気密性など地域の特性に対応した性能を確保した。集成材は県森連が供給。県内産加工品や琉球松を視野に入れた売り込みを図る。設計はフリープラン。

構造材や部材はすべて工業化し、「きれいな島に産業廃棄物を持ち込まない、出さない」(米永理事長)住宅づくりを目指す。構造計算や確認申請までの手続きは事務局が代行、支援する。施工会費を10社程度に増やし、当初年間50棟を計画。15年1月下旬に県森連集成材工場見学会や設計勉強会を開催、また3月には現地モデル住宅見学会も開く。

第三者災害防止を

県建設業協会鹿児島支部・被災防鹿児島分会パト

「会員の労災発生は前年同期比25%減という状況にあるが、年末年始の第三者災害防止と合わせ、工事のふくそうする時期での事故を未然に防止するためにも、徹底した指導をお願いする」と挨拶。

また、幸加木輝征建築防鹿児島分会長も「この時期は例年、重機・転落

鹿児島市社会福祉協に寄付

社会福祉に役立てて

県建設業連



会福祉協議会事務局で、もらいたいと同協議会会員から集めた募金等を福祉活動に活用して現在、同連合会には86社が加盟し、社団法人として発足当初から社会福祉や日本赤十字、交通遺児などに対して寄付活動を実施している。今回の寄付は忘年会の席上で会員から募った募金と土木フェスタでのイベント収入の一部や一般市民からの募金などをまとめて寄付した。

江藤会長が「今回で5回目の寄付となるが、善意の募金を手渡す江藤会長(右)」

鹿児島市の市社会福祉協議会事務局で

鹿児島市の社会福祉のために役立てて頂ければ幸いです」と挨拶して同協議会の西小野昭雄会長に目録を贈呈。これに答えて、西小野会長が「これまでの寄付を感謝するとともに、皆さんの温かい善意を無駄にすることのないよう、福祉に有効活用して参りたい」と感謝の言葉を述べた。

同連合会では、今後も会員相互の協同と連携を図りながら社会奉仕活動を推進していきたいとしている。

天然ガス転換作業を完了

都市ガスの安定供給へ

日本ガス

日本ガス(株) (中間兼市)の供給区域内で実施した天然ガス転換作業を完了した。

同作業は、生ガスの原因となる一酸化炭素や硫黄分など不純物を含まないクリーンエネルギーの天然ガスの転換事業を推進することを目的に、12年1月から約3年をかけて鹿児島市のすべての供給区域の14万3000件で行われていた。作業は古いガスの入れ替えやガス器具の部品交換・調整など33万3000台を整備。

また、今回の転換作業により全国の地域でも同じガス器具が使え、器具の調整や買い換えの必要がなくなり、経済的にも便利になった。さらに、導管やホルダーなど既存の供給設備を従来の2倍以上に活用でき、ガス料金の長期安定化にも役立っている。

転換メリットは、①ガスの安定供給が可能②窒素酸化物や二酸化炭素の排出量も少ない③石油と比べ経済性に効果④保安の向上など。



慎重な審議が行われた審査会
＝鹿児島市の県社会福祉センターで

県建築審査会

車両基地建設など同意

福祉センターで第3回審査会を開き、出水市の用途外建築許可と個人及び法人から示された接道義務特例許可などを審議、委員から全て同意を得た。

審査会では、事務局から建築基準法第48条第6項ただし書きの規定による用途外建築許可1件と建築基準法第43条第1項ただし書きの規定による接道義務特例許可12件の計13件の公開・非公開の説明が行われた後、審議に入った。

このうち、用途外建築許可可では、出水市の出水駅構内に建設を予定している車両基地の用途地域について審議。申請者はJR九州。内容は、敷地面積599・97平方メートルに検査や修繕等を行う車両検収庫(564・72㎡)、危険品庫、塵芥置場等を整備する。事務局からただし書きや詳細な説明、慎重な審議の結果、全委員の同意を得た。当日は、13件を審議する予定だったが、2件のみの審議となり、残り11件は次回審査会で審議する。

購読料のお支払いは
お手軽で便利な

自動振替で

鹿児島建設新聞
099-227-5100へ



ゴルフ会員権と株券・即現金買取り

相場80% 融資OK!!
商業手形割引

きりハウス(株)
鹿児島市下荒田4-8-16 ☎(099)252-5238